

施工説明書

雨水槽 RTN-3（地上設置型）

この度はダイワ化成の雨水槽をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この施工説明書をよくご確認いただき、施工にとりかかっていますようお願い申し上げます。

目 次

施工上のご注意 2
施工の前に 4
施工手順 5
1. 外観検査 5
2. 設置場所選定 5
3. ブロック敷設 6
4. 雨樋の切断 6
5. 雨水槽の据付 6
6. 配管接続 7
7. 送水ポンプ設置 7
8. 部品の取り付け 8
9. 試運転 8
10. 竣工検査 8
11. お引渡し 8

お客様に事故の無いよう、施工前にこの説明書をよくご確認の上正しく施工してください。

施工上のご注意

用語表示の説明

警 告	… この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注 意	… この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。 怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
禁 止	… してはいけません。
遵 守	… 指示通りしてください。

注 意

槽本体の据付は専用の基礎を設けてください。
水準器等で基礎の水平を確認し、
槽本体にガタツキが無いようにしてください。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。

槽本体は別売り部品の固定金具で固定
または転倒防止を行って下さい。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。

水の溜まるような場所へのポンプの
設置は避けてください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。

散水用として使用される場合は
誤って飲用しないように表示を行ってください。

この注意を怠り飲用に用いると健康を損なう恐れがあります。

水道水給水管は凍結防止の
保温材を設けてください。

この注意を怠ると、冬季に凍結破損の恐れがあります。

ブロワ、ポンプの基礎は本体のスラブに
つなげないでください。又、寝室等の近くには
設置しないでください。

この注意を怠ると、騒音が生じる場合があります。

ボールタップへの水道水給水管の接続や
既存水道配管の盛替は管工事士の資格を
有する専門業者に委託してください。

この注意を怠ると、法律に反します。

ポンプ、切替弁、フロート等の分解や
改造は行わないでください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。

ドレン抜、オーバーフロー配管は
雨水配水管に接続してください。
汚水配管へは接続しないでください。

この注意を怠ると、法律に反します。

トイレ洗浄水として使用する場合、
シャワートイレ配管には接続しないでください。
(シャワートイレには水道水を使用ください)
また、シャワートイレ一体式便器には
使用しないでください。

警 告 ・ 注 意

据付工事に際して槽本体の急激な吊り上げ、吊り下ろしは絶対に行わないでください。

この注意を怠ると、吊り下げ金具が破損し、
傷害事故、家財の破損が生ずる恐れがあります。

可燃物の近くにポンプを設置しないでください。

この注意を怠ると、引火して火災や感電の原因となります。

工事の際、素手で本体に触れないでください。

この注意を怠ると、傷害事故が生ずる恐れがあります。

槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。

この注意を怠ると、槽が陥没する恐れがあり、
槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。

槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には絶対に立ち入らないようにしてください。

この注意を怠ると、
槽本体の落下による傷害事故が生ずる恐れがあります。

**ポンプの電源は屋外型の防水コンセントを用いてください。
また、電源工事に関しては電気工事有資格者に委託してください。**

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- ☐ 設置場所は地盤強度：長期許容耐力0.5t以上保持していることを確認してください。
- ☐ 設置場所はトイレや散水栓とできるだけ最短距離で維持管理の容易な場所を選定してください。
- ☐ 屋内や床下等は避けてください。
- ☐ 建屋雨樋からの雨水排水管の配管勾配が確保できるように配置してください。
- ☐ 設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊設置工事の場合

※次のような場所に設置する場合は弊社にお問い合わせください。

- ☐ 軟弱地盤の地域、地盤が水位より低い地域

●部品の確認

- ☐ 施工前に必ず梱包内容を確認してください

		数量	雨水槽タイプ
<input type="checkbox"/> 槽本体	...	1	共通
(槽本体同梱部品：施工説明書、使用説明書)			
<input type="checkbox"/> 手動ポンプ	...	1	RTN-H型
<input type="checkbox"/> 水中ポンプ(50Hz／60Hz)	...	1	RTN-W型
<input type="checkbox"/> 加圧ポンプ(50Hz／60Hz)	...	1	RTN-A型
<input type="checkbox"/> 接続ジャバラ管	...	1	共通
<input type="checkbox"/> 角トイ継手(三菱)	...	1	
<input type="checkbox"/> 角トイ継手(タキロン)	...	1	
<input type="checkbox"/> ホースバンド	...	2	
<input type="checkbox"/> 丸トイ短管	...	2	

●別途にご用意していただくもの

- ☐ コンクリートブロック(高さ100mm以上)
- ☐ 塩ビ配管 VP25(ポンプ配管)、同継手類
- ☐ 塩ビ配管 VP20(オーバーフロー管)、同継手類
- ☐ 塩ビ配管 VP13(給水配管)、同継手類
- ☐ 塩ビ接着剤

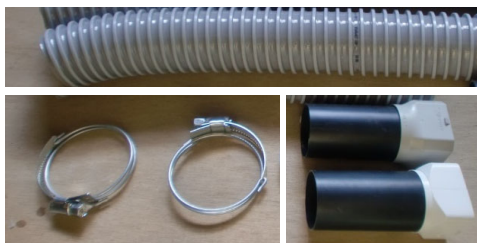
●必要な工具

- ☐ スコップ、ツルハシ等の掘削工具
- ☐ 測定工具(スケール、水準器、トランシットレベル等)
- ☐ 水捲き用ホースリール
- ☐ プラスドライバー
- ☐ モンキーレンチ
- ☐ カッター
- ☐ 鋸(塩ビ用)
- ☐ 電動ドリル、コンクリート用ドリル(φ6mm)

施工手順

1. 外観検査

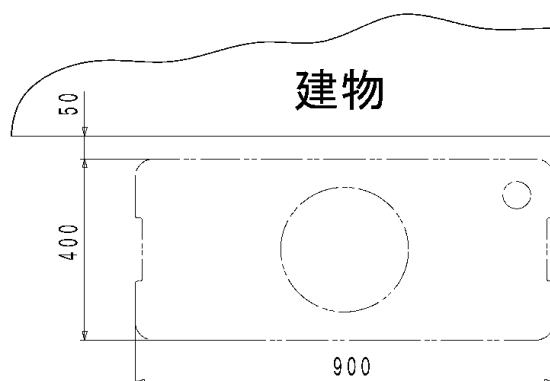
- ・ 工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。
- ・ 工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等で亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。



※ 製品および同梱品の数量は
P.3“●部品の確認”を
ご参照ください。

2. 設置場所選定

- ・ 取水する雨樋縦管を選定して、設置する場所を決定してください。
 - ・ 雨水槽は壁や建物から50mm以上離して設置ください。
 - ・ 同梱された接続部品が雨樋のサイズと合うかを確認ください。
- ※ $\phi 60$ の丸トイの場合は接続ジャバラ、角トイの場合は2種類の角トイ継ぎ手になります。
- ※ これ以外の形状の場合は雨樋専用の継ぎ手が必要となりますので、施工された業者にご確認ください。
- ・ ポンプ等の設置は寝室等、騒音の気になる場所は避けてください。



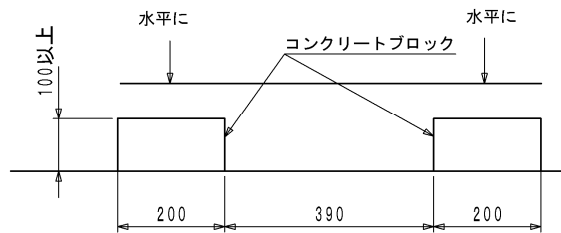
※ 下記のような場所への設置は避けてください

- ・ ぬかるみや地盤の柔らかい場所
- ・ 地盤が平坦でない場所
- ・ 水が溜まるような場所
- ・ 芝生、落ち葉などの上(芝生、落ち葉を除去してください)
- ・ ウッドデッキ等、構造物の上
- ・ 玉砂利、敷石の敷かれている上
- ・ インターロッキングの上
- ・ 勾配の急な場所

このような場所は設置工事が困難なうえ、雨水槽の転倒や傾き等が生じ危険です。
安全・快適にご使用いただくため、設置場所の選定にはご考慮ください。
Wタイプ、Aタイプはポンプの電源が必要です。(100V)
設置場所付近に電源がない場合は専門の業者に依頼して電源を設けてください。

3.ブロック敷設

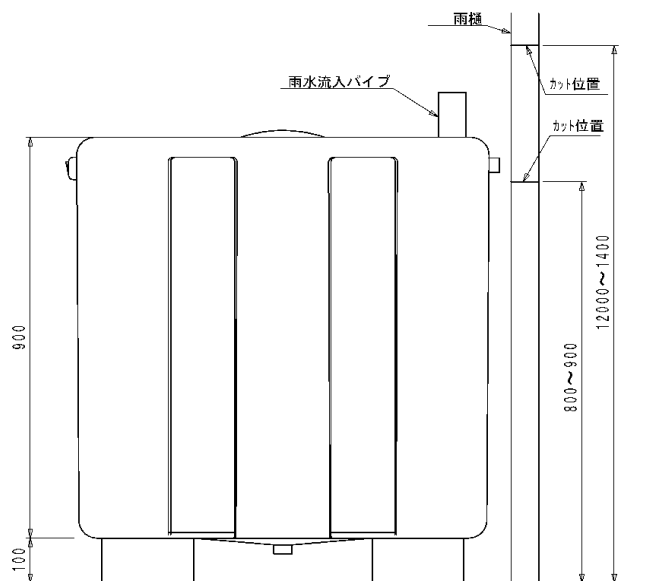
- ・ 雨水槽設置位置にブロックを設置してください。
- ・ 下図の寸法で、ブロックの上面が水平になるように設置してください。



- ※ ブロックのレベルは水準器等で正確に確認してください。
- ※ 砂地や泥地などの地盤が不安定な場所への設置は避けてください。

4.雨樋の切断

- ・ 下記と図を参照し雨樋の切断位置をマーキングしてください。
 - ① 上側は雨水槽を設置する場所の地上面より1000～1400mmの範囲で罫書く。
 - ② 下側は立上り本体のオーバーフロー位置より100～200mm下で罫書く
- ・ マーキングに沿って雨樋を塩ビ用の鋸でカットしてください。
- ・ カットする際は雨樋が振動しないように手でしっかり固定してください。



5.雨水槽の据付

- ・ ブロック上に雨水槽本体を据付し、設置位置を決定します。
- ※ 流入管、放流管、オーバーフロー管、ポンプ配管等の接続が可能か、十分にご確認ください。
- ※ 据付時、雨水槽本体にガタツキがないことを確認してください。
- ・ 据付完了しましたら、同梱の取水蛇口を本体の蛇口取り付け部に取り付けてください。
- ・ 取り付け時は蛇口のネジ部にシールトテープを巻きつけてねじ込んでください。
- ・ 雨水槽本体をブロック上に据付け、雨水槽内に1/3程度水を入れてください。
- ・ 設置場所の地盤に異常がないことを確認してください。
- ・ 本体にガタツキが無いことを確認してください。

- ※ ブロック上に小石等の異物がないことを確認してください。
- ※ 槽を据付の際、本体を引きずったり、ぶつけたり、衝撃を与えたりしないでください。

6.配管接続

① 雨樋縦管の接続

- ・ 槽本体の流入パイプ部に付属のジャバラホースの一端を差込み、ホースバンドで固定します。
- ・ 雨樋が $\phi 60\text{mm}$ の丸トイの場合
→ ジャバラホースのもう一端も雨樋に差込み、ホースバンドで固定します。
- ・ 雨樋が角トイの場合
→ 付属の角トイ継手をジャバラホースに挿し込んでください。
ホースバンドで固定し、元の雨樋に接着してください。

※ 雨樋によっては付属の部品で接続できない場合があります。その場合は弊社までご相談ください。



← ↑ 角トイ継手

② 水道水給水管の接続(Aタイプのみ)

- ・ 本体の接続口に給水バルブソケット、もしくは給水バルブエルボを取り付けてください。
- ・ 槽本体の給水接続口(13A)に水道水配管を接続してください。
- ・ 接続した配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。

※ 給水管はHIVP13を使用してください。

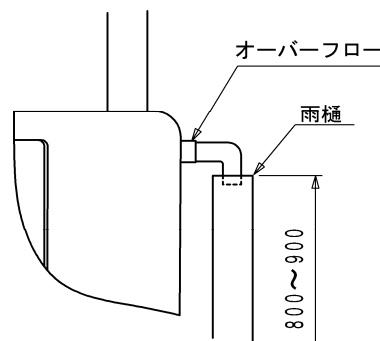
※ 槽本体の接続前に止水バルブを設けると非常時に便利です。

③ オーバーフローの接続

- ・ オーバーフロー接続口(20A)も必要であれば配管(VP20, 別途ご準備ください)を接続します。

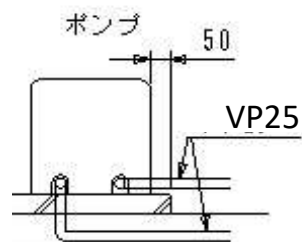
※ 下図のように配管しますと、オーバーフローした雨水は雨樋を通じて排水されます。

※ 接続しない場合は、降雨時に本体のオーバーフローした雨水があふれますが、機能上問題はありません。



7.送水ポンプ設置

- ・ ポンプは通気、防湿、騒音等を考慮した場所で雨水槽より3m以内になるように設置ください。
- ・ 振動防止の為、コンクリート基礎を打ち、機器の重量や振動に耐える構造としてください。
- ・ 建物基礎や雨水槽本体の上部スラブに直接つなげないでください。
- ・ GLより100mm以上高く、機器類の外形より50mm大きくしてください。



- ※ 100V電源に接続ください(200V電源に接続しないでください)
- ※ ブロワやポンプは運転時に熱を持つ為カバーをかぶせたり風通しの悪い場所や可燃物、危険物の近くへの設置は避けてください。
- ※ 屋根からの雨水がかからないようにしてください。
- ※ アース端子が無い場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。
- ※ 電気工事にあたっては資格が必要です。
- 必要に応じて有資格の専門業者さまに相談・ご依頼ください。

8.部品の取り付け

- ・ 槽本体の点検蓋を取り外すと、水道水切替タンクの中に切替フロートが梱包されています。
- ・ 梱包材を取り外し、そのまま、槽内に吊り下げのようにセットしてください。
- ・ 出荷時に切替フロートの鎖は調整してありますので、鎖の長さは調整不要です。

9.試運転

- ・ 雨水槽本体に水をためてください。
- ・ 本体の漏水がないか、オーバーフローの排水に異常はないかを確認ください。
- ・ ポンプに呼水を入れてください。(RTN-A型のみ)
- ・ ポンプの電源を入れてください。(RTN-A型, RTN-W型のみ)
- ・ 散水栓、トイレへの給水が正常に行われているかを確認してください。
- ・ 槽本体の水位低下時に水道水切替タンクから槽本体に水道水が給水されることを確認してください。(RTN-A型のみ)
- ・ 設置完了時には下記の工事竣工チェックリストで竣工検査を行ってください。

10.竣工検査

- ・ 工事完了後、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

	チェック内容	結果
1	槽本体の据付にガタツキはないか	無 ・ 有
2	トイレ、散水へ確実に配管されているか	無 ・ 有
3	雨水流入パイプへの接続は確実にされているか	無 ・ 有
4	蛇口から確実に水が出るか(RTN-B型タイプ)	無 ・ 有
5	手動ポンプ作動に異常はないか(RTN-H型タイプ)	無 ・ 有
6	雨水槽から手動ポンプの接続に異常はないか(RTN-H型タイプ)	無 ・ 有
7	水中ポンプのスイッチを入れると水中ポンプが正常に作動するか(RTN-W型)	無 ・ 有
8	スイッチの作動に異常はないか(RTN-W型)	無 ・ 有
9	雨水槽から加圧ポンプへの配管接続に異常は無いか(RTN-A型)	無 ・ 有
10	加圧ポンプの作動に異常は無いか(RTN-A型)	無 ・ 有
11	水道水配管の接続に異常はないか(RTN-A型)	無 ・ 有
12	ポンプの取り付けにガタツキはないか(RTN-W型, RTN-A型)	無 ・ 有
13	ポンプの運転音が気にならないか(RTN-W型, RTN-A型)	無 ・ 有
14	ポンプ電源は屋外用防水コンセントになっているか(RTN-W型, RTN-A型)	無 ・ 有

11.お引渡し

- ・ 竣工検査完了後、管理者さまに取扱説明書、保証書をお渡しください
- ・ 正しい使用方法や注意事項のご説明をお願いいたします。